

消防団健康マガジン

ボリシヨイ劇場で サイボーグに変身

ばんどう ひろし
板東 浩氏

糖尿病専門医、ピアニスト、スピードスケーター、マスターズ陸上選手、著書として「肥満脱出大作戦」「Dr.板東の音楽療法シリーズ」など。印刷物は1300点以上。

前号で、私は自分の身体をサイボーグに作り替えようと研究中だと述べた。このたびロシアのモスクワを訪れ、ボリシヨイ劇場でオペラを観劇中に得たのが宇宙パワー。漫画家・石ノ森章太郎の「サイボーグ009」に変身した可能性もあり、報告したい。

サイボーグ009

昭和版で、かつての俺の名は島村シヨイ。世界の影で暗躍する死の商人「黒い幽霊団(ブラックゴースト)」と闘った。平時には穏やかで優しく、戦闘時には真摯かつ勇敢な性格で皆を勇気づけたものだ。改造したのはロシア人科学者・ギルモア博士である。

平成版では博士がソ連科学

アカデミーに在籍。当地の問題は、ウオッカを多飲する男性が肝臓や膵臓を弱め肥満に陥ること。偶然にも博士と同じ誕生日の筆者 Ban Do Joe が今回改造されることに。私の使命は、人々の腹部に深く潜むメタボの敵「白色脂肪団」と闘うことだ。

具体的な戦略を示そう。私の身体をドラえもんのスモールライトで「ミクロ決死隊」のサイズに変え、内臓脂肪という組織に送り込む。戦術は、火炎放射器で白色脂肪を燃やし、褐色脂肪を援助し、脂肪滴という敵と闘うのだ。

繁栄と凋落

さて、現実に戻ろう。オペラの題は「街の繁栄と凋落」で、冒頭シーンには驚いた。街角には劣悪で混沌とした魔窟があり、暗く不気味なゴミ集積場からヒトが虫のように湧いてくる。しかし、ここから人々が立ち上がり協力しあつて成功の道へ。街も隆盛を極め栄光の時代を迎えた。

しかし、栄者は永遠ではない。平家物語のように、諸行無



隣接する新劇場の客席

常や盛者必衰の法則は、世界中で当てはまるのだ。

心身の安定を

街や国が繁栄していく基盤とは何だろうか？ 物や金ではなく、実は人々のマンパワーだ。人の情熱こそが地域共同体や国、地球レベルまで変革していく原動力となる。

人の基本は身体の管理である。健康維持の要点はメタボ対策。諸悪の根源である内臓脂肪を少なくしたい。また、心のストレスには芸術を活用するとよい。真善美を求めると情緒が安定し、身体もストレスから守られる。

今回は人と街について、ロシアの劇場からサイボーグが報告した次第である。



ボリシヨイ劇場前